

【別紙様式3】

再評価実施事業調書

番号	1	事業名	道路事業		路線又は箇所名等		国道409号 茂原一宮道路		
事業所管課		道路整備課		事業主体			千葉県		
事業化年度	平成 12年度	用地着手年度	平成 13年度	工事着手年度 工事終了(認可)年度	平成14年度 令和9年度	再評価の理由	再々評価		
費用便益比 B/C	1.4 (5.6)	総費用	182億円 (44億円)	総便益	261億円 (245億円)	基準年	令和 元年度	供用開始 年度	令和 9年度

※上段：全体事業 下段（ ）：残事業

【事業概要】

国道409号茂原一宮道路を含む地域高規格道路「茂原・一宮・大原道路」は、「館山鴨川道路」や「鴨川大原道路」とともに、房総半島外房地域の観光拠点等の連絡性・周遊性を強化するため、さらには、観光・物流などの産業活動を支援する道路として、外房地域の骨格的な役割を果たす道路である。

国道409号茂原一宮道路は、圏央道の茂原長南ICと接続する長南町千田から茂原市三ヶ谷に至る約7.2kmを整備区間としている。平成25年の圏央道の開通にあわせ、国道409号から茂原長南ICまで約0.7kmの供用を開始しており、現在、残る区間の整備を進めているところである。

- ・総事業費：152億円
- ・事業延長：L=7.2km
- ・事業期間：平成12年度～令和9年度

【事業の進捗状況】（令和元年度末見込み）

	全体計画(億円)	投資事業費(億円)	残事業費(億円)	進捗率(%)
全体	152	104	48	68

【社会経済情勢等】

1. 並行する現道の状況について

- ①混雑度が1.25を超えており、旅行速度も県平均(28.9km/h)を下回る区間ある。また、上茂原交差点や(仮称)昭和橋北交差点が主要渋滞箇所特定されている。
- ②死傷事故率は53.8件/億台キロであり、県平均の49.0件/億台キロを上回っている。
- ③長生地域の東西を結ぶ主要な幹線道路であるが、練炭する家屋が道路に迫っており、緊急輸送道路として脆弱である。

2. 長生地域の観光入込状況について

平成25年の圏央道(東金・木更津間)の開通後、長生地域の観光入込客は増加しており、特に、一宮海水浴場や釣ヶ崎海岸を有する一宮町ではサーフィンを目的とした来客が増加傾向にある。釣ヶ崎海岸は、2020年東京オリンピックのサーフィン会場であり、茂原一宮道路や圏央道(大栄・横芝間)の整備により、今後、ますますの観光客の増加が期待される。

3. 事業の投資効果

茂原一宮道路に交通が転換することにより、渋滞が緩和されるとともに、走行時間の短縮や走行経費の減少、交通事故の減少等の効果が期待される

【対応方針(案)】

継続

国道409号茂原一宮道路は、全体事業の費用便益(B/C)が1.4(残事業費5.6)であり、事業の投資効果が見込まれる。

地域高規格道路として、アクアラインや圏央道の整備効果を広く外房地域に波及させる道路として不可欠であり、地域の期待が高い道路である。

整備効果として、交通の転換による走行時間短縮及び渋滞緩和、交通事故の減少、救急搬送時間の短縮による救命率の向上、観光施設へのアクセス向上、緊急輸送道路ネットワークの強化が期待される。供用目標を公表し、着実に事業を推進していることから、事業を継続し効果の早期発現を目指す。

【別紙様式 4】

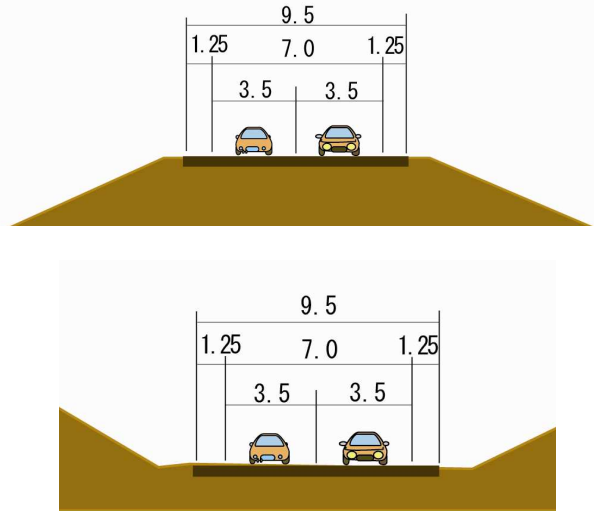
事業概要図

番号	1	事業名	国道道路改築	路線又は箇所名等	国道409号 茂原一宮道路
----	---	-----	--------	----------	------------------

位置図

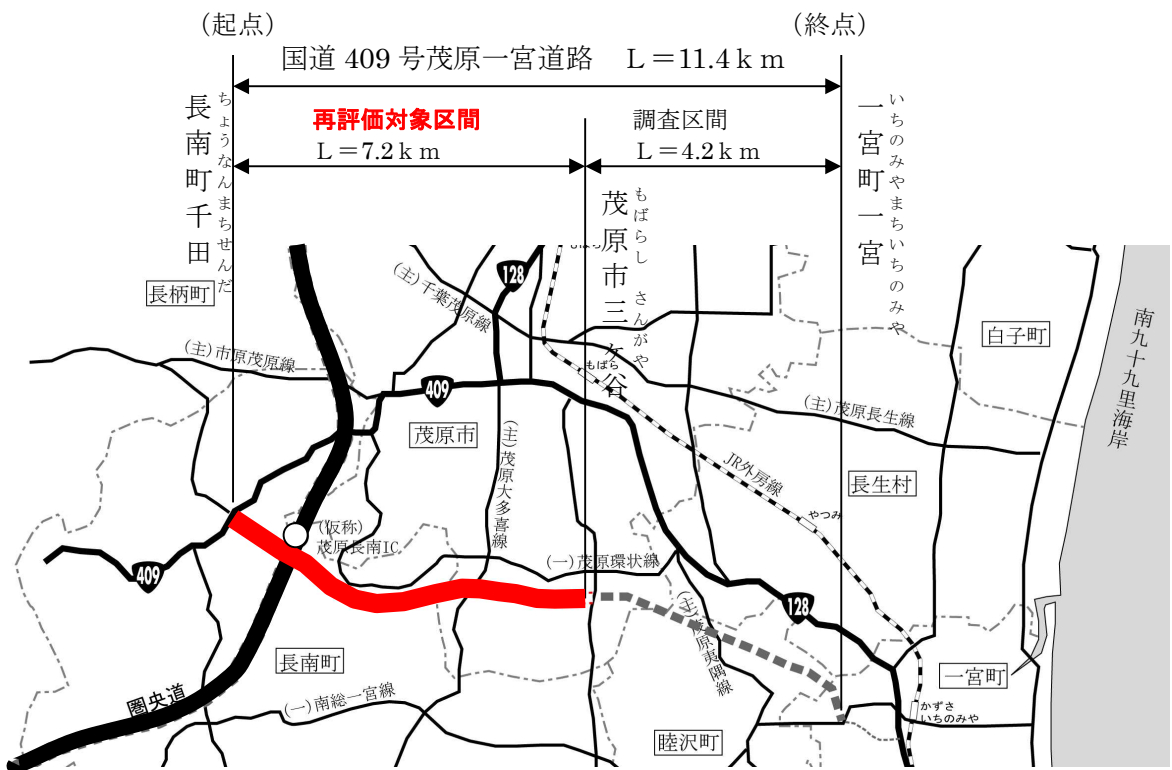


標準横断面図



(単位：m)

平面図



【別紙様式5】

再々評価事業に関する調書

番 号	1	事 業 名	国道道路改築事業	路線又は箇所名等	国道409号 茂原一宮道路
事業化年度	平成12年度	用地着手年度	平成13年度	工事着手年度	平成14年度

【再評価の概要】

再評価実施年度 (基準年)	平成26年度	供用開始年度	令和9年度	対応方針	継続
B/C	1.3 (2.4)	総費用	147億円 (67億円)	総便益	196億円 (161億円)

※上段：全体事業 下段（ ）：残事業

再評価時の委員会の意見及び当時の状況
継続することが妥当である。

再評価時の進捗状況及び再評価時想定の5年後の進捗状況

	計 画	進捗状況(H26)	5年後の想定進捗状況
全体事業費	152億円	68億円 (45%)	109億円 (72%)
うち用地・補償費	41億円	21億円 (51%)	29億円 (71%)
うち工事費	111億円	47億円 (42%)	80億円 (72%)

【再々評価の概要】

再評価実施年度 (基準年)	令和元年度	供用開始年度	令和9年度	対応方針	継続
B/C	1.4 (5.6)	総費用	182億円 (44億円)	総便益	261億円 (245億円)

※上段：全体事業 下段（ ）：残事業

現在の進捗状況

	計 画	進捗状況(令和元年度)
全体事業費	152億円	104億円 (68%)
うち用地・補償費	41億円	23億円 (56%)
うち工事費	111億円	81億円 (73%)

再評価後の経過
及び
処理状況

平成27年1月 千葉県 県土整備公共事業評価審議会 再々評価
(継続が妥当である)